

令和3年度 技術力維持・向上対策研修（実践研修）

開催日時 令和3年11月17日（水）～19日（金）
研修場所 四国森林管理局会議室（高知県高知市）
現地研修 栃ノ木谷山国有林3227林班（高知県中土佐町）
受講者 県職員6名、村職員1名 森林管理局職員5名

【概要】

- 1日目は開講式で四国森林管理局武田部長、林野庁研究指導課吉岡課長補佐の挨拶の後、（株）サイプレススナダヤ砂田社長様よりCLTの生産状況や課題、展望、ウッドショックの内容が組み込まれた講義があり、受講生は熱心に耳を傾けていた。続いて、集材架線システムの概略説明、資料作成の講義後、各班が搬出系統図の検討・作成に取り組んだ。
- 2日目は栃ノ木谷山移動し現地研修を実施した。①各班は3本の伐採木を利用しての採材研修、②須崎地区森林組合様の間伐施業の現地踏査を行った。その後会場に戻り、森林管理局に設置されている集材模型による操作の体験後、現地実習を踏まえ、架線システム資料作成に取り組んだ。
- 3日目は市町村等の林務担当者向けという条件のもと、班ごとに集材架線システム関連資料作成及びスライドによる発表、質疑応答後に本研修を終了した。
- 全体としては、四国ブロックの特徴である架線集材を主題に位置づけ、講義→班内検討→現地実習・演習→発表・意見交換と、受講生にとって林業実務への広範な対応に資する内容であった。

【研修の様子（1日目）】



搬出系統図（架線・作業道）検討・作成

【研修の様子（2日目）】



外部講師による採材研修の説明の様子



外部講師による架線集材の講義の様子

【研修の様子（3日目）】



発表用の搬出システム資料の作成



班ごとに作成したスライドの発表